

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">化学系薬学実習</p>	<p>対象学科・学年 薬学部薬学2年生</p>	<p>担当者 宮下 和之 前崎 直容 谿 忠人</p>
<p>授業テーマ 有機化学実験</p>		
<p>授業の概要と目標 医薬品のそのほとんどは、有機化合物である。本実習においては、有機化合物の精製（再結晶、抽出、蒸留、クロマト操作）、簡単な合成、分析（確認試験、機器分析）等の基本操作の原理を理解するとともにその技術を習得する。 また、代表的な漢方処方に配合される漢方薬の鑑定技術（眼識）を習得し、日本薬局方に記載された原材料の規定や試験法などを学ぶ。</p>		
<p>評価方法 出席、実験態度および随時レポートを課し、その内容により評価する。 漢方薬・漢方処方鑑定実習では出席、レポート、鑑定試験結果により評価する。</p>		
<p>テキスト 化学系薬学実習テキスト（プリントを配布） 漢方薬・漢方処方鑑定実習テキスト（プリントを配付） 薬学生・薬剤師のための「知っておきたい生薬100—含漢方処方—」</p>	<p>著者 日本薬学会 編</p>	<p>出版社 東京化学同人</p>
<p>参考書 有機化学実験のてびき 1～5 機器分析のてびき 1～3, データ集 第15改正日本薬局方（解説書）</p>	<p>著者 後藤俊夫 他 監修 泉 美治 他 監修</p>	<p>出版社 化学同人 化学同人 廣川書店</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>I. 化学実験を始める前に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学実験に関する安全指導 2. 実験記録のつけ方 3. 文献検索 <p>II. 有機化学実験の基本操作</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. ガラス細工 5. 有機化合物の精製（固体試料）：再結晶法、純度検定（融点） 6. 有機化合物の精製（液体試料）：溶媒分配法、蒸留法、純度検定（沸点） <p>III. 有機化合物の合成</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 官能基の変換：アミド化 8. 官能基の変換：エステル化 9. 炭素—炭素結合形成反応 <p>IV. 有機化合物の単離と構造解析</p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 植物成分の抽出精製 11. 天然有機化合物の構造解析：クロマトグラフィーによる分析・分離精製 12. 天然有機化合物の構造解析：機器分析（IR、NMR）による構造解析 <p>V. 漢方薬・漢方処方鑑定実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 実習講義（代表的な漢方処方に配合される漢方薬、日本薬局方（医薬品各条）の生薬規定、鑑定実習の方法解説） 14. 葛根、甘草、人参など代表的な漢方薬の鑑定実習 15. 葛根、甘草、人参など代表的な漢方薬の鑑定「試験」と日本薬局方の生薬規定の学習（レポート） <p>補助担当：①松本あゆみ、②北村麻理愛、③広川美視 （実習準備、安全指導、学生の質問への対応など、担当の教員を補助）</p>		